

町政懇談会

5月19日、松崎町環境改善センター文化ホールで町政懇談会を開催し、多くの皆さまのご参加をいただきました。

その概要として、いただいたご意見などの一部をご紹介します。

津波避難タワーについて

津波避難タワーの候補地について、誰がどのように決めたのか、選定理由、住民への説明を行う予定はあるか。日照や景観、圧迫感など周辺への影響を検討されているか。

(総務課長) 今回の予算で準備しているのは南区に設置するものである。命を守るための施設として被害想定に基づき設置するもので、南区から意見をいただき今回の計画に至った。住民の皆さまへの説明については、これから実施設計な

どを進めていくなかで、ある程度資料がまとまったら説明会を開催したいと考えている。日照や景観など細かい点についても、進めながら随時説明していきたい。

財政状況について

財政状況を見ると、7割は交付金となっており、このままいけば消滅してしまうのではないかと不安である。税収を増やすためには仕事を増やさなければならぬが、大きな企業の誘致も見込むことはできない。経済がまわらなければ人口も増えない。まず、何から手を付けていくのか伺いたい。

(町長) 全国的に地方の小規模自治体の多くが、国の交付金に依存している状況となっている。国の交付金を運用しながら進めなければならぬ一方、この地域に外貨を稼ぐ力をつけることも必要である。何か一つに絞って手を付

けていくということは難しい。3次産業である観光が強みだからといって、1次産業がいらぬわけではない。民間に力をつけていただくことが大切であり、松崎町だけでなく、近隣自治体と一緒にこの地域の産業振興を図っていきたい。

旧岩科小学校の活用について

昨年、一昨年と町政懇談会で、旧岩科小学校を片付けて使いやすくしようとお願ひした。教育委員会と岩科の区長さんを中心に地区のボランティアを募り、譲渡会や片付けが実施できたことに大変感謝している。

避難所として使う場所であり、災害時のための施設として活用、整備ができないかと考えているので、今後もお願ひしたい。

(企画観光課長) 地域の方が協力していただけることは非常にありがたい。引き続き協力をお願いしたい。



▲町政懇談会の様子

依田之庄について

大澤にある依田之庄の休業日が週2日になった。お客さんが少なく、休みを増やしたと噂で聞くが、消極的過ぎるのではないかと。平日に行くとガラガラの日もあるが、集客の工夫がされているのではないかと。もっと営業努力が必要であるし、身の丈にあった規模に縮小するなど考えるべきではないか。

(企画観光課長) 休館日を増やしたのは経費を抑えるために試験的に行っているもの。赤字解消のための対

策は考えなければならぬところであり、利用状況の統計を取っている。今後については、値上げも検討している。また、集客に当たっては、売店の設置も必要ではという話も出ており、管理している振興公社やNPO法人伊豆学研究会とも協力しながら改善していきたい。

旧中川小学校の活用について

旧中川小学校に下田土木事務所松崎支所が移ってくる。住民の避難場所となっているので心強いが、住民が非常にうまく企画運営している中川サロンの開催に影響が出ないようお願いしたい。

(総務課長) 土木事務所が使用するのは2階部分であり、中川サロンは整備後も使えるようにと考えているが、工事中はご協力いただきたい。

【問合せ】

企画観光課(42)3964